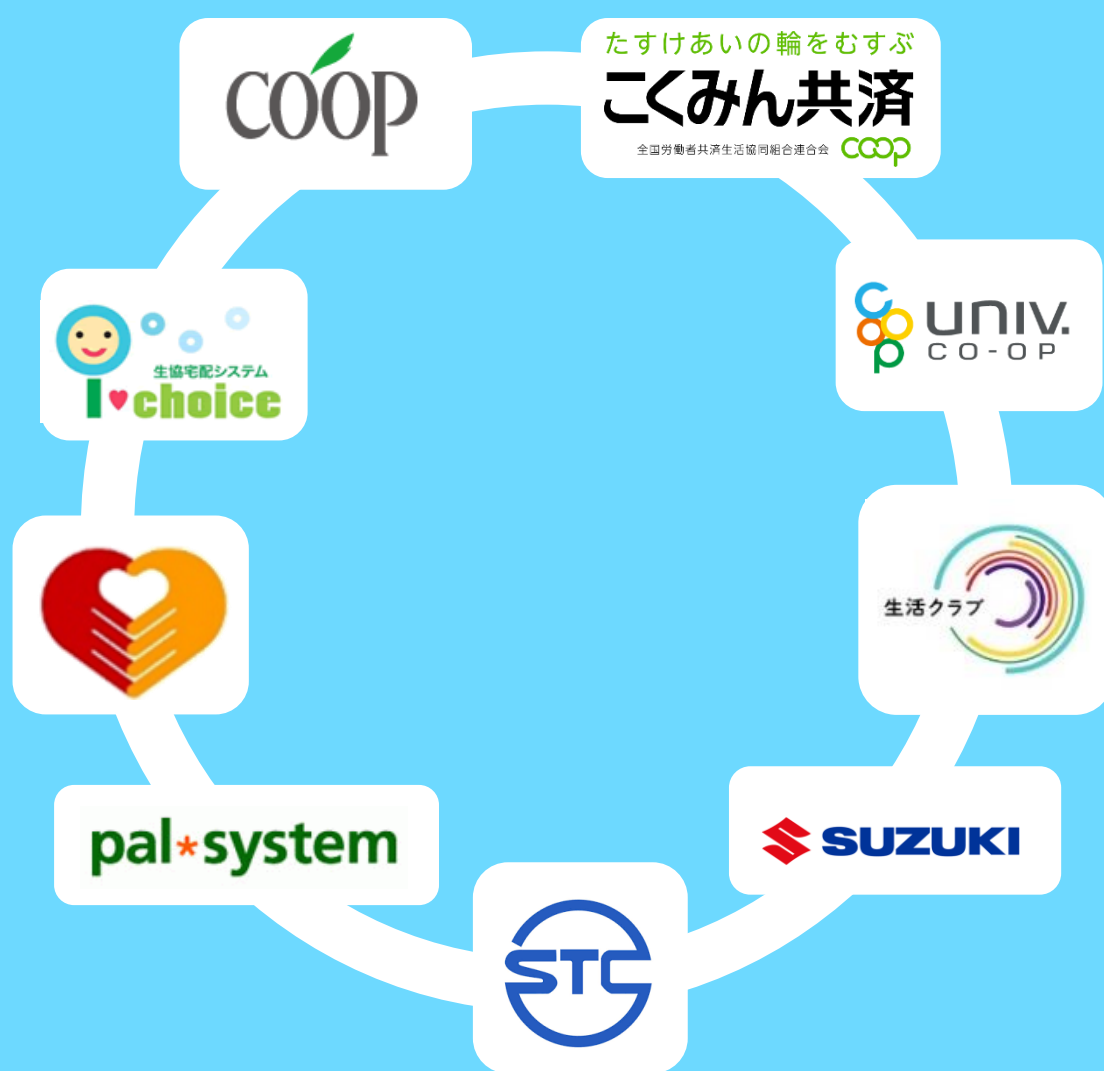


しずおかの生協

2021



静岡県生活協同組合連合会

ごあいさつ

静岡県生活協同組合連合会

会長 稲垣 滋彦



日頃は、私ども静岡県生活協同組合連合会（以下、県生協連）の活動に対し、多大なるご理解、ご協力を賜わり、まことにありがとうございます。

2021年7月現在も、新型コロナウイルス感染症の流行で依然として多くの県民の皆さんが大きな不安を抱え、不自由な生活を強いられています。各会員生協はこのような時だからこそ、全力を挙げて生協の事業と活動で個々の組合員の生活に向き合い、組合員の暮らしの生活・文化の向上に貢献できるように努力しています。

同時に、組合員だけでなく、多くの人たち、世界中の人たちが苦しんでいる時だからこそ、県生協連は2015年に国連で採択された「持続可能な開発目標」(SDGs)の実現に向け、取り組みをすすめています。例えば、「飢餓や貧困をなくす」課題では、「フードバンクふじのくに」の構成団体として、静岡県労働者福祉協議会の構成団体として、共に活動を進めています。

平和の課題では、「ヒバクシャ国際署名をすすめる静岡県連絡会」の呼びかけ団体として、「核兵器廃絶、被爆者援護」への賛同を広げる活動をすすめてきました。この間の署名や運動の成果として、2021年1月に核兵器禁止条約の発効が実現しました。

県生協連では、2021年度方針として「平和で安心して暮らせる活動を推進し、住みよい地域づくりへの貢献」「会員生協の活動支援につながるよう、行政や諸団体との関係づくりの強化」の2点を継続して掲げました。会員生協や行政、地域の諸団体の皆様とともに、県民の平和でよりよい生活につながるよう取り組みを進めてまいります。変わらぬご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

目次

会長ごあいさつ	2
コープSDGs行動宣言	3
生活協同組合(CO-OP)について	4
静岡県生活協同組合連合会概要/2021年度役員	5
2020年度の取り組み	
フードバンク・生活困窮者支援	6
行政との連携・エシカル消費	7
防災・減災、2020年度行政等各種委員の状況	8
協同組合間連携、諸団体との協同・連携	9
平和・核兵器のない世界に向けて	10
2021年度活動方針	11
会員生協紹介	12-29
地域購買生協の市町別組合員数	30
大規模自然災害等緊急時の対応手順書	31

コープSDGs行動宣言（第68回日本生協連通常総会・特別アピール）

私たち生協は、SDGs(持続可能な開発目標)に貢献することを約束(コミット)します。

私たちは、「生協の21世紀理念(1997年総会決定)」のもと、助け合いの組織として、誰もが笑顔でくらすことができ、持続可能な社会の実現をめざし、様々な取り組みを進めてきました。誰も取り残さないというSDGsのめざすものは、協同組合の理念と重なり合っています。

私たちは、あらためて持続可能な社会の実現に向けて取り組むことを、「SDGs行動宣言」としてまとめました。

私たちは、以下の7つの取り組みをつうじて、世界の人々とともにSDGsを実現していきます。

世界から飢餓や貧困をなくし、子どもたちを支援する活動を推進します

私たちは、誰一人取り残さない世界をめざして、世界が抱える問題についての理解を深め、助け合いの精神を貫き、ユニセフ募金などに取り組み、世界の子どもたちを支援します。「貧困」の連鎖をなくしていくために、子どもの貧困について学び、話し合う活動を広げ、子ども食堂やフードバンク・フードドライブなどの取り組みを進めます。



健康づくりの取り組みを広げ、福祉事業・助け合い活動を進めます

私たちは、食生活、運動、社会参加の視点から健康づくりを進めます。安全・安心はもとより、より健康な食生活に向けた商品事業と組合員活動を推進します。生活習慣病や介護予防など「予防」を重視し、福祉事業や助け合い活動を広げ、自治体や諸団体と連携し、地域包括ケアシステムのネットワークに参画します。



誰もが安心してくらし続けられる地域社会づくりに参加します

私たちは、誰一人取り残さず、安心してくらし続けられる地域社会づくりに参加します。自治体や諸団体との連携を大切にしつつ、地域の見守り、移動販売や配食事業など、生協の事業や活動のインフラを活用し、地域における役割発揮を進めます。



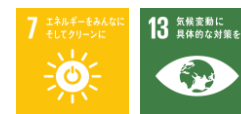
ジェンダー平等(男女平等)と多様な人々が共生できる社会づくりを推進します

私たちは、地域における活動を通じて、社会のジェンダー平等と多様な人々が共生できる社会の実現に貢献します。女性も男性も、誰もが元気に、生きがいを持って働き続けられる生協づくりを進めます。



地球温暖化対策を推進し、再生可能エネルギーを利用・普及します

私たちは、地球の持続可能性を揺るがす気候変動の脅威に対して、意欲的な温室効果ガス削減目標(2030年環境目標)を掲げ、省エネルギーと再生可能エネルギーの導入に積極的に取り組みます。再生可能エネルギーの電源開発や家庭用電気小売を広げ、原子力発電に頼らないエネルギー政策への転換をめざします。



持続可能な生産と消費のために、商品とくらしのあり方を見直していきます

私たちは、「つくる責任」と「つかう責任」の好循環を発展させ、持続可能な社会づくりをめざします。国内外の人々、そして限りある地球資源へ思いをはせ、商品の開発と供給を進めます。学習活動を通じて、エシカル消費や持続可能な社会に関する理解を促進し、私たち自らの消費行動やくらしのあり方を見直していきます。



核兵器廃絶と世界平和の実現をめざす活動を推進します

私たちは、「核なき世界」の実現のために、世界の人々と手を携えて、核兵器を廃絶し、平和な社会をめざす取り組みを進めます。私たちは、次の世代に被爆・戦争体験を継承し、日本国憲法の基本原則である平和主義のもと世界平和の実現に積極的に貢献します。



協同組合とは

協同組合は、共通の目的を持った人同士が自発的に集まって作る経済組織です。出資金という形で自分たちで元手を出し合い、組合員となって事業を利用し、組合員として運営にかかわっています。

このように出資者であると同時に、事業の利用者でもある組合員が、組織の運営にもあたっている協同組合では、組合員の民主的な参画を大切にしています。組織が大きくなった現在では、多くの協同組合で運営の基本方針は総会、あるいは、総代会で決めて、日常的な運営はもっぱら選挙で選ばれた理事などの組合員代表が行なう代議制がとられており、組合員は出資の大小にかかわらず、一人一票の投票権と決定への参加権を持っています。これは、民主性を重視した協同組合ならではの運営方法です。

日本をはじめ世界各国にさまざまな協同組合があります。どの協同組合も、参加する組合員の願いを実現するために人々が自発的に手を結んだ組織です。協同組合は、19世紀にイギリスで始まり世界各地に広がりました。日本では、協同組合に延べ1億500万人超が組合員として加入しています。業種は農林水産業・購買・金融・共済・就労創出・福祉・医療・旅行・住宅など多岐にわたり、事業収益は35兆3,000億円にもなりません。

世界の協同組合が集う国際協同組合同盟（ICA）には、109か国から311の協同組合が加盟しており、加盟組織の組合員の総数は約12億人にも及びます。（2019年8月時点）

生活協同組合（CO-OP）について

生協は「生活協同組合」の略で、数ある「協同組合」の一つです。消費者一人ひとりがお金（出資金）を出し合い組合員となり、協同で運営・利用する組織です。生協には、購買生協（地域生協、職域生協、大学生協）、医療福祉生協、共済生協などがあります。日本国内には暮らしに密着した様々な分野で活動している561の生協があります。全国の生協の2020年度の組合員総数は2,996万人、総事業高は3兆7,978億円、地域生協の世帯加入率は38.7%です。生協は日本最大の消費者団体でもあります。

略称としてよく使われる「コープ」は、「協同組合」を表す「Co-operative（コーペラティブ）」の「Co-op」を日本語読みにしたものです。

持続可能な開発目標（SDGs）と協同組合

2015年の9月25～27日、ニューヨーク国連本部において「国連持続可能な開発サミット」が開催され、「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択されました。ここでは「誰一人取り残さないこと」が基本理念として掲げられ、人間、地球及び繁栄のための行動計画として、宣言および目標が掲げられました。この目標が、ミレニアム開発目標（MDGs）の後継であり、17の目標と169のターゲットからなる「持続可能な開発目標（SDGs）」です。この中で協同組合は、SDGsの達成にあたり役割を果たすべき民間セクターの一つとして明記されています。

静岡県生活協同組合連合会 概要 (設立 1967年6月30日 認可 1967年9月29日)

静岡県生活協同組合連合会(県生協連)は、9会員が加盟している生活協同組合(生協)の連合会です。会員生協とともに県民の平和でよりよいくらしに貢献することをめざして活動しています。

理事会は会員生協の役員を中心に構成され、各生協の事業や活動を支援するとともに、行政、友誼団体との連携をすすめています。また日本生活協同組合連合会との連絡窓口を担っています。

地域生協、大学生協、職域生協、共済生協、医療生協がそれぞれ地域、大学、職場等で組合員の要求にこたえる事業を展開しています。2020年度の事業高・組合員数は以下の通りです。

区分	会員生協	事業高(千円)	組合員数(人)
地域	生活協同組合ユーコープ	58,165,487	543,995
	生活協同組合パルシステム静岡	4,292,375	36,609
	生活クラブ生活協同組合	1,147,016	4,113
	あいち生活協同組合	754,153	7,143
大学	静岡大学生生活協同組合	1,230,485	12,570
職域	スズキ生活協同組合	700,480	20,554
	静岡県教職員生活協同組合	343,730	28,355
共済	静岡県労働者共済生活協同組合	45,716,284	477,723
医療	浜北医療生活協同組合	480,615	4,655

*ユーコープとあいち生協の事業高・組合員数は、静岡県内での活動による数値です。

2021年度役員体制

- 会 長 稲垣 滋彦(代表理事)
生活協同組合ユーコープ 顧問
- 副 会 長 鈴木 隆博
静岡県労働者共済生活協同組合 理事長
- 専務理事 飯田 知男(代表理事)
生活協同組合ユーコープ 執行役員
- 常務理事 中村 範子
員 外
- 常務理事 望月 美可
員 外
- 理 事 神谷 昇
静岡県教職員生活協同組合 常務理事
- 理 事 佐宗 健二
浜北医療生活協同組合 専務理事
- 理 事 清水 久美子
生活協同組合ユーコープ 理事
- 理 事 芹澤 潤二
生活クラブ生活協同組合 専務理事
- 理 事 寺西 道治
あいち生活協同組合 専務理事
- 理 事 中村 千須子
生活協同組合ユーコープ 理事
- 理 事 藤崎 稔
スズキ生活協同組合 常務理事
- 理 事 増田 勝俊
静岡県教職員生活協同組合 理事長
- 理 事 棟田 光彦
静岡大学生生活協同組合 専務理事
- 理 事 望月 静子
生活協同組合パルシステム静岡 常任理事
- 監 事 遠藤 さとみ
生活協同組合ユーコープ 監事
- 監 事 長谷川 民樹
生活協同組合パルシステム静岡 事業部長

2020 年度の取り組み

フードバンク・生活困窮者支援

【フードバンクふじのくにの活動支援】



県生協連は、認定 NPO 法人フードバンクふじのくにの構成団体として運営に参画しています。会員生協に対しフードバンク活動への参加を呼びかけ、夏のフードドライブにはユーコープ、静岡県労働者共済生協（こくみん共済 coop）が参加し、冬のフードドライブには新たに浜北医療生協が参加しました。また、フードドライブ後の食料品仕分けボランティア（写真）には 33 名（3 生協）の申し込みがありました。



（会員生協および関係団体の取り組み）

- パルシステム静岡は備蓄食料品買い替え時のフードドライブを行いました。
- ユーコープは 2020 年度の事業収益から地域社会への還元として 400 万円、また組合員から寄せられた「ユニセフ・平和・フードバンク募金」から 286 万円を寄付しました。
- 静岡県労働者共済生協（こくみん共済 coop 静岡推進本部）は「たすけあいキャンペーン」として協力団体での保障の見直し件数に応じて寄付金として計上し 170 万円を寄付しました。
- 静岡県教職員生協は女性部共同購入の収益から 12 万 8,000 円を寄付しました。
- 静岡県協同組合間提携推進協議会ではフードバンク活動の趣旨に賛同し、会費から 20 万円を寄付しました。

【コロナ禍への対応】



学生が出席できないため食堂等の経営状況が極めて厳しい静岡大学生協に対し、2020 年度会費の減免を行いました。

「3つの密（密閉・密集・密接）」を避けるため県生協連の機関会議の開催形態を見直しました。理事会は「広い会場で換気などに留意して開催」「書面による『みなし理事会』」「WEB 併用開催」の方法で開催しました。第 55 回通常総会では書面による議決についてもご案内し、実出席 7 名・書面議決 43 名での開催となりました。

静岡県立大学が進めるコロナ禍での学生支援の取り組み

「たべものカフェ」に賛同し缶詰（CO・OP いわし蒲焼）100 個を寄贈しました。缶詰は学生に配られました。



⑥（写真）

行政との連携・エシカル消費

【静岡県くらし・環境部県民生活課との連絡会】



県行政との協力・連携を進めることを目的に7月に開催しました。県からは消費者支援・消費者教育、エシカル消費推進事業について報告をいただきました。各会員生協からは

コロナ禍での事業と活動の状況について報告し、相互交流しました。



【エシカル消費推進事業（プラス・エシカル）への参加】

プラス・エシカルロゴマークを会員生協機関紙（ユーコープ、パルシステム静岡）や店舗（ユーコープ）で宣伝しました。また、静岡県庁東館ロビーにてコープのエシカル商品を展示し、来庁者にご覧いただきました。



【ふじのくに COOL チャレンジ クルポへの参加】

静岡県、各市町、民間企業や諸団体で構成する地球温暖化防止活動「ふじのくに COOL チャレンジ クルポ」への参加について会員生協の参加を呼びかけました。ユーコープでは店舗のリサイクルボックスに新たにポイントスポットが設置され、リサイクル品を持参した組合員がクルポポイントを獲得できるようになりました。



防災・減災

【防災・災害時対応】

「大規模自然災害等緊急時対応計画」を地震災害だけでなく豪雨災害等も想定し事前準備について加筆・修正し、「手順書」を策定しました（P. 31 参照）。また、手順書に基づき通信訓練を実施しました。

【被災地支援活動】



静岡県ボランティア協会が呼びかける「岩手県被災沿岸部に“静岡のみかん”をお届けします」にちえ、みかん10箱を寄贈しました（写真）。寄贈したみかんはクリスマスに大槌町・釜石市・陸前高田市・山田町・遠野市の仮設住宅で生活されている方々や幼稚園、保育園、福祉施設などに届けられました。

「TOMOSHIBI プロジェクト-東日本大震災10年の集い-」に静岡県ボランティア協会等とともに実行委員会に参加し、県内5か所で映画「風の電話」を上映しました。



2020年度 行政及び日本生協連、諸団体関係の各種委員一覧表

	審議会・委員会等	氏名	役職名
県行政関係	静岡県消費生活審議会 委員	稲垣 滋彦	会長
	静岡県水産振興審議会 委員	稲垣 滋彦	会長
	しずおか食の安全推進のための意見交換会 委員	稲垣 滋彦	会長
	静岡県食と農が支える豊かな暮らしづくり審議会 委員	中村 範子	常務理事
	静岡県多面的機能支払交付金第三者委員会 委員	中村 範子	常務理事
	ふじのくに消費者教育推進県協議会 委員	中村 範子	常務理事
	ふじのくに生物多様性地域戦略推進会議 委員	中村 範子	常務理事
	静岡県ごみ減量・リサイクル推進委員会 委員	中村 範子	常務理事
	しずおか地産地消推進協議会 委員	中村 範子	常務理事
	しずおか男女共同参画推進会議 委員	望月 美可	常務理事
	障害を理由とする差別解消推進県民会議 委員	望月 美可	常務理事
	浜松市消費者教育推進地域協議会 副会長	中村 範子	常務理事
日本生協連関係	全国職域生協協議会 運営委員、購買事業小委員会 委員	藤崎 稔	理事
	中央地連運営委員会 委員	飯田 知男 中村 範子	専務理事 常務理事
	中央地連職域生協協議会 委員長	藤崎 稔	理事
	中央地連県連活動推進会議 委員	飯田 知男	専務理事
	中央地連大規模災害対策協議会 委員	山田 和仁	事務局 長
諸団体関係	静岡県協同組合間提携推進協議会 副会長	稲垣 滋彦	会長
	同 委員	飯田 知男	専務理事
	同 副幹事長	望月 美可	常務理事
	静岡県経済連事業審査委員会 委員	中村 範子	常務理事
	静岡県労働者福祉協議会 副理事長	稲垣 滋彦	会長
	同 幹事	飯田 知男	専務理事
	静岡県労働者福祉基金協会 理事	飯田 知男	専務理事
	フードバンクふじのくに 副理事長	稲垣 滋彦	会長
	消費者問題ネットワークしずおか 幹事長	中村 範子	常務理事
	原水爆禁止静岡県平和行進実行委員会 代表委員	稲垣 滋彦	会長
3・1ビキニデー静岡県実行委員会 代表委員	稲垣 滋彦	会長	
同 運営委員	望月 美可	常務理事	

協同組合間連携、諸団体との協同・連携

【静岡県協同組合間提携推進協議会（農協・漁協・森林組合との協同・連携）】



協同組合間
の連携を図る
とともに協同

組合の価値を高め地域社会の発展に寄与することを目的に、女性交流集会や農業体験企画、安倍川流木クリーンまつりに取り組みました。

女性交流集会には県西部を中心に農協、漁協、生協の女性組合員等 26 名が参加し、オンラインで各団体の活動を報告し交流しました（写真）。

農業体験企画は、県内の特産物の担い手づくりを視野に入れた企画として J A 静岡中央会との協同により開催し、県中西部を中心に栽培されている海老芋の土寄せ・収穫体験を事務局レベルで実施しました。

新型コロナウイルス感染症の影響から「富士山麓育林活動」「水生生物観察会」「協同組合学習交流会」は中止となりました。



【労働者福祉事業団体との協同・連携】



静岡県労働者福祉基金協会が実施した ALWF*ゼミの実行委員会に参加しました。マネージャーコースに役員 4 名と事務局長が参加し、「福祉事業団体職員アンケート結果報告（講師：富田晋司氏）」「NPO 活動の変遷と NPO の今後をとらえる視点（講師：日詰一幸氏）」について学びました（写真）。その他に、ALWF 自主研究会（10 年後の高年齢者の働き方：勤労者の人生設計と企業・労働組合の関わり）、NPO パートナー委員会に委員を派遣しました。



労福協だより（2020 年春号、夏号、秋号、2021 年新春号）に県生協連の取り組みを掲載しました。

*ALWF = 公益財団法人静岡県労働者福祉基金協会

【消費者問題ネットワークしずおかの活動】



県生協連が事務局を務める消費者問題ネットワークしずおかでは、県の委託事業「令和 2 年度消費生活相談員資格取得支援講座」を運営しました。今年はビデオ講座（YouTube 限定配信）となりました。消費生活相談員資格試験には 4 名が合格しました。



平和・核兵器のない世界に向けて

【ヒバクシャ国際署名の取り組み】



静岡県生協連も呼びかけ人として参加する「ヒバクシャ国際署名をすすめる静岡県連絡会」は、国連への署名の提出期限である9月にまとめの総会（代表者会議）を開催しました（写真）。2018年4月の結成からの活動を振り返り、県内での署名推進のための諸団体の連携が進んだことなどの前進点を参加者全員で確認しました。署名は県内全体で170,362筆（うち生協関係では72,849筆）が寄せられました。



【ヒロシマ平和の旅】

毎年8月に実施している「ヒロシマ平和の旅」は中止となりましたが、日本生協連「ピースアクション in ヒロシマ・ナガサキ」がWEB開催となったため、視聴参加を呼びかけました。

【3・1ビキニ事件を伝え核兵器廃絶を求める取り組み】



人類初の水爆犠牲者となった第五福竜丸無線長・久保山愛吉さんを悼み核兵器廃絶を求める取り組みとして、

平和行進、9・23焼津行動、3・1ビキニデーを静岡県原水爆被害者の会等の諸団体とともに開催しました（写真）。

コロナ禍のため平和行進は中止となり、県事務局メンバーによる静岡市内での街頭宣伝（5/24）と愛知県との引継ぎ式（5/31）を行いました。9・23焼津行動は墓前の誓いの集いのみが規模縮小で開催されました。3・1ビキニデーは墓前祭が規模縮小で開催されましたがビキニデー集会はオンラインで開催され、全国612ポイントから視聴参加がありました。県生協連は、墓前に供える菊花（9・23焼津行動）とバラ（3・1ビキニデー）を手配しました。



2021 年度活動方針

～スローガン～

行政や諸団体とのネットワークを強化し、会員生協とともに県民の平和でよりよい暮らしにつながる取り組みをすすめます。

～2021 年度活動方針～

1. 平和で安心して暮らせる活動を推進し、住みよい地域づくりに貢献します。

(1) 自然災害等の緊急時に備える取り組みをすすめます。

- ①会員生協や諸団体と連携した対応が円滑に図れるよう、静岡県生協連の具体的な役割を明らかにします。
- ②行政や他団体が主催する防災訓練や図上訓練に協力・参加し、ふだんから繋がりづくりをすすめていきます。
- ③緊急時でも正確な情報伝達がおこなえるよう、災害対応計画に基づく訓練を定期実施します。

(2) 核兵器廃絶と平和な社会の実現をめざした取り組みをすすめます。

- ①平和の大切さを育み平和を願う想いを未来につなげていくために、社会的発信や行動を広げていきます。
- ②ヒロシマ・ナガサキの歴史を見つめ、平和について考える機会を設けます。
- ③第3の被ばく県として、ビキニ環礁における水爆実験による事件の実相を学び、核兵器の恐ろしさや平和の大切さを広げていきます。

(3) 組合員の関心が高い暮らしに関わる取り組みをすすめます。

- ①会員生協におけるフードバンクの取り組みの理解を深め、活動を広めていくことで、食品ロスの削減と生活困窮者の支援をすすめます。
- ②食の安全・安心や食育に関する情報の積極的な収集と発信を通じて、組合員の健康づくりを応援します。
- ③会員生協共通の課題や要望に則ったテーマで学習会などの企画をおこない、消費者が地域や暮らしに関わる課題について自ら考え主体的に行動できる力を高める取り組みをすすめます。

2. 会員生協の活動支援に繋がるよう、行政や諸団体との関係づくり強化をすすめます。

(1) 会員生協の事業や活動に活かせるよう、会員生協同士の活動の共有や交流を深めます。

- ①静岡県生協連ニュースやホームページを通じ、また各会員生協の広報部局との協力を得ながら静岡県生協連の取り組みや暮らしに関係する情報を組合員に提供します。
- ②協同や連携を推進し、各会員生協間の情報共有を進めるための機会を用意します。

(2) 行政や政党との関係を深め相互理解をすすめるために、定期的に懇談する場を持ちます。

- ①静岡県生協連からは、静岡県生協連や会員生協の取り組みを伝えつつ、消費者行政の充実を依頼し、行政や各政党からは生協への質問や要望を聞き、交流を深めます。
- ②行政や各政党との関係から得た要望や情報は、会員生協に繋げていきます。

(3) 交流と連携を通じ、築き上げてきた団体間とのネットワークをさらに深めます。

- ①労働者福祉事業団体の一員として、安心して暮らせる地域社会の実現に向けた取り組みをおこないます。
- ②地域課題の解決に向けて協同組合間提携推進協議会が担う新たな役割について、静岡県生協連から提案します。

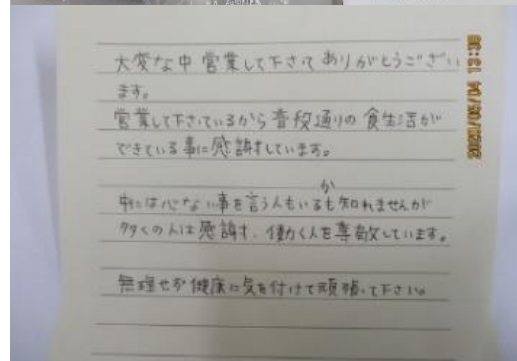
本部住所	〒420-0031 静岡市葵区呉服町 1-3-14
県本部 TEL・FAX	TEL 054-272-6811 FAX 054-272-6971
代表者名 (設立)	執行役員・しずおか県本部長 飯田 知男 (2013年3月21日)
組合員数・事業高(しずおか)	54万3,995名・581億6,549万円
ホームページアドレス	http://www.ucoop.or.jp/

【2020年度活動報告】

経営基本方針に基づく主な取り組み

【指針1. 組合員の立場で実践できる、人と組織をつくります。】

- (1) 2020年3月には、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響から、一時、宅配需要が高まり、物流・配送機能がひっ迫しましたが、現場と本部で働く全員が力を合わせ、「注文いただいた商品を欠品・遅配なくお届けする」ことに取り組みました。しかしながら一部商品については欠品を発生させ、ご迷惑をおかけいたしました。一方、組合員の皆さんやそのご家族から「こんな時に商品を届けてくれてありがとう」「お体に気を付けてがんばって」といった励ましの声や手紙などをいただきました。このことが、働く職員の励みや組合員のお役に立っているという実感となり、職員・パート職員一人ひとりの成長につながっています。
- (2) 例年10月～11月に開催している「ユーコープ 秋の感謝祭」は、インターネットや郵送など、ご自宅から参加できる新しい生活様式に合った方法で10月から1月に開催しました。「新商品のお試し企画」「ユーコープの事業や活動を知ってもらうクイズ」「お笑い芸人によるエンカル消費漫才」など多彩な7企画を開催し、延べ3,916名とこれまで以上に多くの方に参加いただきました。



【指針2. 組合員の期待に事業で応え、事業構造の改革を進めます。】

- (1) インターネット注文サイト「eふれんず」を利用した注文が急増しました。また、9月には、おうちCO-OPの注文アプリ「ポッケアプリ」に、「リピ注文」やポイントの使用と残高確認ができる機能が追加し、より使いやすくなりました。
- (2) 配送体制を安定させ、配送品質の向上や定時間帯配送の実現などを目的に、2020年7月1週(2020年6月29日)配達分より、宅配サービス料を改定しました。
- (3) 静岡県内の店舗では城北店(静岡市葵区)を改装しました。入口付近の配置を変更して通路幅を広げ、ベビーカーやカートでも買い物しやすくなりました。



(4) 新型コロナウイルス感染症の影響で飲食店が休業し、静岡市で栽培している生わさびが販売場所を失っていることを知り、静岡県の17店舗で「生わさび」を1本199円(例年780~980円位)で販売し、生産者を応援しました。2020年5月下旬から2週間にわたりおすすりを続け、1,200本を超えるご利用をいただきました。



(5) ながさき南部生産組合と240名の組合員が、オンラインで産地交流をしました。

長崎県南原市内の新玉ねぎとトマトの畑をご自宅のパソコンなどで見学いただきながら、生産者の土づくりのこだわりやレシピ紹介、その場で寄せられた質問への回答など行いました。



(6) 2020年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、家庭で食事をする機会が増え、おうちCO-OP・店舗ともに例年を超える多くのご利用をいただきました。そこで、組合員の皆さんに感謝の気持ちを込めて、2020年3月21日~2021年1月20日のおうちCO-OP・店舗ご利用合計金額に対して、0.5%のポイント還元を3月度に実施しました。



【指針3. 社会的役割を發揮します。】

(1) 例年8月に1カ月間全店舗で実施している夏のフードドライブは実施を前倒しし、7月より2カ月間取り組みました。また、1月に実施した冬のフードドライブでは、世の中の関心の高まりを受け、過去最高となる約5トンの食品を組合員の皆さんから直接お寄せいただきました。

(2) 新型コロナウイルス感染症の影響により増加した生活支援を必要とする方の一助となるよう「新型コロナウイルス緊急支援募金」に取り組みました。組合員より約1,298万円の募金をお寄せいただき、神奈川・静岡・山梨県の各地域で支援活動に取り組む団体に寄付しました。【写真左下は静岡県共同募金会からの表彰状】

(3) 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため地域でのイベントを自粛する中「今、私たちにできることはないか」という想いから、6月に洗って使える布マスク224枚をエリアコーディネーター中心に手づくりしました。7月にフードバンクふじのくにを訪ね、マスクを寄贈しました。

【写真中央はフードバンクふじのくにへの寄贈の様子】

(4) 浜松市立鴨江小学校の5年生54名を対象に、SDGs出前講座を開催しました。

SDGsの17の目標に関するクイズや、ユニセフの命のメジャーの配布、ユーコープの取り組みなど参加型の授業を行いました。【写真右下は出前講座の様子】

(5) 三島市からの要請で、(株)コープライフサービスの社員が、家族葬をテーマとした講座を行いました。当日は48人が聴講し、地域とのつながりの中で、くらしに役立つ情報を提供することができました。



本部住所	〒420-0839 静岡市葵区鷹匠 2-13-4
代表 TEL・FAX	TEL 054-254-1180 FAX 054-251-2659
代表者名 (設立)	理事長 鈴木 隆博 (1957年6月10日)
組合員数・事業高	477,723名・457億1628万円
ホームページアドレス	https://www.zenrosai.coop/index.html

【2020年度活動報告】

静岡労済は、「健全な事業基盤を確立し、常に組合員から信頼され、安心を提供できる組織」を目指し、組合員の「安心」・「安全」への取り組みを展開しました。

1. コロナ禍における推進活動

新型コロナウイルス拡大の影響で、これまでの推進スタイルを踏襲しながらも、密を回避するための「新しい生活様式」推進策として

①主催会議のリモート開催②個別保障相談のリモート化③ショップ窓口の営業時間短縮と一部予約制の導入等を実施しています。

今後も、組合員目線に立った新スタイルの拡充を検討していきます。



コロナ禍につき、人数を絞って開催した静岡労済通常総代会 (2020年7月30日)

2. 社会貢献活動

(1) 「フードバンクふじのくに」への寄付

こくみん共済 coop 静岡推進本部において、保障の見直し・無保障者解消運動を通じて、組合員の可処分所得向上に寄与する取り組みをすすめることで、「フードバンクふじのくに」への寄付につなげました。

- ・マイカー共済見積り 1件あたり 100円
- ・マイカー共済新規加入 1件あたり 200円
- ・個別保障相談 1件あたり 200円
- ・こくみん共済新規加入 1件あたり 300円

対象寄付金額・・・1,700,000円を「フードバンクふじのくに」へ寄付しました。

また、共済ショップ沼津店・静岡店・浜松店へフードバンク BOXを設置し、来店者への理解を求めました (写真)。

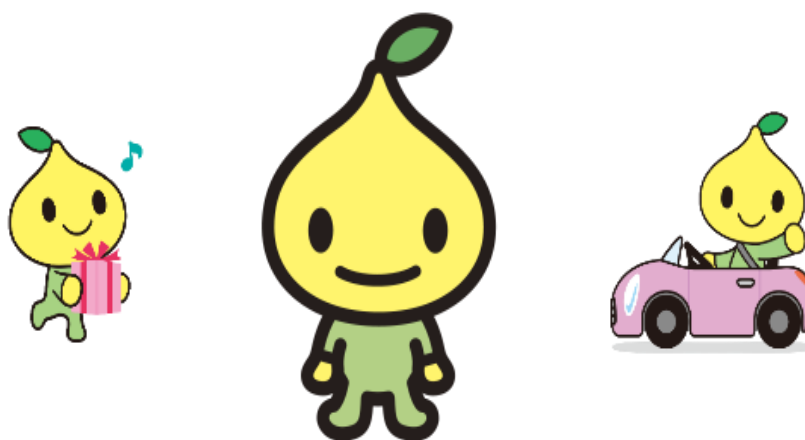


(2) 「7才の交通安全プロジェクト」「こどもの成長応援プロジェクト」活動

マイカー共済のお見積もり1件につき1本の横断旗を寄贈する取り組み、こくみん共済子ども保障タイプへのご加入1件につき1本のなわとび・長なわを寄贈する取り組みを行なっております。各職域団体、一般地域に広く呼び掛けることで多くの横断旗、なわとびを寄贈していきます。

3. 災害対応

2020年度は静岡県内での大きな災害対応は発生しませんでした。2021年2月に発生した福島県沖の地震災害は、被災受付件数が1万件を超える大規模災害となりました。そのため、被災者への対応については、コロナ禍の状況を踏まえ、個人宅訪問を基本的に回避し、ご契約者から「被災状況自己申告書」「写真」などを郵送いただく書類審査対応を行なっています。今回は全国支援として静岡においても審査対応を行なっています。



本部住所	〒422-8017 静岡市駿河区大谷 836
代表 TEL・FAX	TEL 054-237-2712 FAX 054-237-3205
代表者名 (設立)	理事長 柴垣 裕司 (1962年7月7日)
組合員数・事業高	12,570名・12億3,049万円
ホームページアドレス	http://www.shizuokaunivcoop.jp/

【2020年度活動報告】

2019年度末から始まった新型コロナウイルス感染症の拡大は未だ収束の目途が立たず、静大生協の経営に非常に大きな影響を与え今後の事業構造の大転換を求められる事態となりました。

卒業式や入学式は中止、前期においては一部の科目を除きほぼすべての講義がオンラインとなり、また課外活動の自粛等で学内にほとんど学生がいない状態が続きました。

後期においては、学内規制の改善は多少されたものの、教室使用は通常期の50%の使用制限という状況が年度末まで続き通常期の半分の登校率となりました。この状況は大学生協の経営の基盤である食堂をはじめとする組合員の食生活を支える事業の大幅な利用の減少を招き経営に大きな影響を与えました。

2020年度の利用者数は前年▲119万1,172人(同比▲71.8%)、ご利用高は前年▲5億7,508万円(同比▲31.8%)、供給剰余は前年▲2億136万円(同比▲47.6%)という結果でした。特に食堂事業への影響は大きく、ご利用者数は前年▲56万3,187人(同比▲74.2%)、ご利用高は前年▲2億7,306万円(同比▲75.1%)、供給剰余は前年▲1億3,891万円(同比▲73.6%)で全体マイナスの約7割を占めています。また、海外旅行、国内旅行のご利用はほぼゼロで海外旅行については回復の目途は立たない状況です。

コロナの影響は対面を主体とする講座事業にも影響があり、特に新入生に提案したパソコン講座、英語セミナー、ビジョンナビセミナーは急遽リモートに切り替えるなどの対応を行いましたが、キャンセルも多く発生しました。一方で公務員講座はいち早くリモート対応を行い受講者も減少することなく前年プラス571万円(同比15.3%)となりました。また情報機器や書籍は新学期利用、校費利用などはコロナの影響が比較的少なく小幅なマイナスに留まることができました。

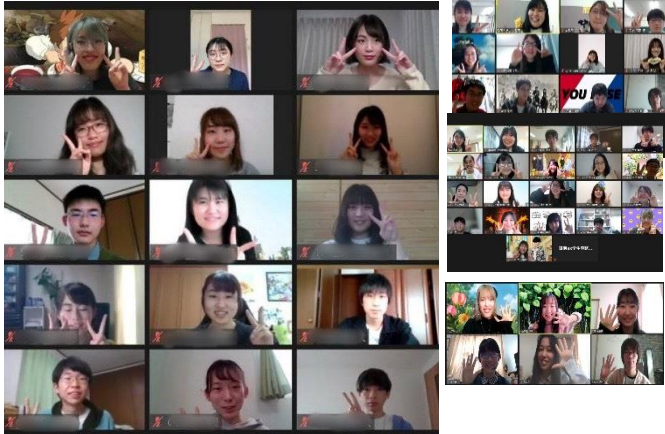
住まいの紹介などの斡旋事業の利用者は2020年入学者(2020年2~3月対応)においては、緊急事態宣言前にほぼ終わっていたため事業への影響はありませんでしたが、2021年入学者(2021年2~3月)は、来場者が大幅に減少し契約件数にも大きな影響がでました。

組合員への利用還元もコロナの影響により減少し書籍販売における組合員割引は1,037万円で前年▲242万円、ポイント還元は前年の約3分の1の121万円(前年373万円)でした。

<コロナ禍での組合員活動>

コロナ禍においても学生委員会による組合員活動は様々な工夫をして行ってきました。

オンラインによる新入生歓迎企画 『Hello! My Campus』



オンラインでのミニゲームやフリートークで新入生同士の交流を深め、上級生スタッフとの交流で学生生活への不安を解消し、新入生が希望を持って大学生活を迎えられるような企画を開催しました。

直前に Enjoy!推薦生 Talking を同様の手順で開催することで、より多くの新入生の不安解消に努めました。

防災の呼び掛け

避難袋を用意しよう！

↓ 静大生協提案の避難袋はこんな感じ



すぐに持ち出せるように

巨大地震が懸念されている中で地震が多発していることから防災について見直しました。避難の仕方、注意点、避難袋についてまとめることで防災について SNS を通じて呼びかけをしています。

新しく一人暮らしを始める新入生に静大オリジナルの防災セットを提案しました。

本部住所	〒432-8065 浜松市南区高塚町 300
代表 TEL・FAX	TEL 053-447-3358 FAX 053-449-2961
代表者名 (設立)	理事長 影田 周一 (1963年3月25日)
組合員数・事業高	20,554名・7億48万円
ホームページアドレス	http://www.suzuki-seikyo.jp

【2020年度活動報告】

令和2年度の我が国経済は、米中摩擦の一時停戦を受け消費税増税による落ち込みからの回復待ちという状況でしたが、コロナショックに見舞われ前半は大きく落ち込んだ状況でした。

そのような中、私たち生協では組合員のご要望を取入れ、イベント販売を年間で延べ310回実施する等、組合員の皆さんに喜んでいただける事業運営に努めてまいりました。その結果、供給高は、700百万円(予算比92.4%、前期比71.3%)、経常剰余金は、49百万円(予算比103.5%、前期比101.6%)となり、特販・指定店部門では、コロナ禍の影響で関連会社より消毒剤の別注や医薬品・健康管理用品の利用が増えたため利益が増加しました。全体では売上は前年を下回ったものの、還元セール回数を減らしたこともあり利益面では、前年並みとなりました。

<<部門別の主な活動実績>>

(1) 魅力溢れる売店づくり

- ①組合員のご要望取入れ⇒ 8月・2月ご意見収集強化月間実施
- ②品揃えの強化⇒ 全国・地元の有名品イベント販売 310回実施
スズキグッズの全売店取扱い強化 (MOTOGP 優勝グッズ他)



(本社売店)



(浜松売店)

- ③売店内の美化⇒ 売店職員・地区担当者による売店改善 (本部による売店実査実施)

- ⑱ 安全対策 ⇒ 新型コロナウイルス感染症対策の実施

(2) 自販機の管理

- ①ご要望に応じた設置⇒ 湖西・二輪技術センター都田・南伊場寮増設
- ②電子マネー対応機の増加⇒ 対応機 飲料自販機 289 台中 266 台に

(3) 業務改善とレベルアップ

- ①全員提案による改善⇒ 301 件（作業効率改善 96 件、経費削減策 13 件、販売促進策 107 件）
- ②外部生協との交流⇒ 日生協職域協議会・県生協連理事会・4 生協研究会
書面、WEB 会議実施

(4) 利益還元の実施

- 上期還元セール中止
- 売店・自販機商品セール実施(3 月)

(5) 法令等の遵守

- ①同一労働同一賃金への取り組み⇒ 正規職員の売店配置を廃止（本部異動）
- ②静岡県検査での指摘事項への対応⇒ 指摘事項の改善計画を県に報告
組合員管理（個人情報）に関する業務委託契約の見直し（電算処理取引先）

(6) 業務継承

- 特販担当者 2020 年 8 月終了
- 経理担当者 2021 年 9 月終了の準備

(7) 新型コロナウイルス対策

- 予防対策⇒ 本部・売店での飛沫防止・換気・消毒
書面・メールによる定期的な注意勧告・職員の体調と行動履歴の徹底管理

今後の日本経済は、コロナ感染が続いている中で消費活動への制限緩和が進まないこと、東京五輪の海外客受け入れ見送りによりインバウンド需要の回復が遅れることから、これまでの予想より経済の持ち直しのペースが鈍化することが予想されます。そのような中でも、私たち生協は組合員に喜ばれる新たなサービスの開拓等、組合員に愛され、喜ばれる生協を目指し、サービス向上と経営の強化に努めてまいります。



生活クラブ

生活クラブ生活協同組合（静岡）

本部住所	〒410-0062 沼津市宮前町 21-4
本部 TEL・FAX	TEL 055-923-4828 FAX 055-922-6153
代表者名（設立）	理事長 平山 和美（1987年11月25日）
組合員数・事業高	4,113名・11億4,702万円
ホームページアドレス	http://shizuoka.seikatsuclub.coop/

【2020年度活動報告】

<2020年度 私たちの到達点>

組合員数	4,113人			
班数	575班			
総利用高	1,147,016,418円	1人あたり月利用高	24,906円	
出資金	560,880,000円	1人あたり出資金	136,367円	

<拡大実績>

	加入人数	脱退人数	純増数	組合員数
実績	246人	241人	5人	4,113人
前年比	81.7%	74.4%		100.1%
計画比	47.3%	112.1%		93.2%

加入が246名、脱退241名、純増5名、組合員数4,113人です。

新型コロナウイルスの影響で活動自体に難しさが伴ったものの純増となりました。

<広報活動>

- （1）単協主催や各支部主催のイベントを随時ホームページやSNSに掲載しました。
- （2）図書館スポンサー制度（雑誌購入費用を負担し広告を掲載）を継続しました。

沼津市（沼津市立図書館）、三島市（三島市立図書館）、富士市（富士市立中央図書館・富士市立東図書館・富士市立西図書館）、裾野市（裾野市立鈴木図書館）、静岡市（静岡市立中央図書館・静岡市立御幸町図書館・静岡市立南部図書館）、藤枝市（藤枝市立駅南図書館）、焼津市（焼津市立図書館）、島田市（島田市立図書館）、磐田市（磐田市立中央図書館）

(3) 各市町の子育てガイドに広告を掲載しました。

沼津市（いきいきぬまづっこ）、三島市（みしまっ子 子育て朝育ちブック）、
函南町（こんにちは赤ちゃん）、裾野市（子育て情報誌）、藤枝市（ふじえだ子育て
ガイドブック）、焼津市（やいづ子育てすくすくガイド）、島田市（しまいく）、
磐田市（いわた子育て情報誌わわわ）

<遺伝子組み換え食品・作物を作らせない活動>

●自生 GM なたね調査活動を実施

4月から5月にかけて単協全体で40か所調査を実施しました。その結果、静岡市清水区でGMなたねを検出しました。GM汚染の広がりを監視するために継続的な調査が必要です。

●GMOフリーゾーンサポーター宣言登録活動を実施し163筆集まりました。

<東日本大震災復興支援>

●「ふくしま・栃木の子ども支援企画リフレッシュツアー in 静岡」は三島市で9月に実施することで準備をすすめていました。しかし、新型コロナウイルス感染拡大に伴いツアーにおける感染防止対策も難しいことから、今年度の開催を断念しました。

<オンラインエシカルフェスタ参加>

●静岡県が11月から開催するエシカルライフに共感するオンラインエシカルフェスタに生活クラブ静岡として参加しました。



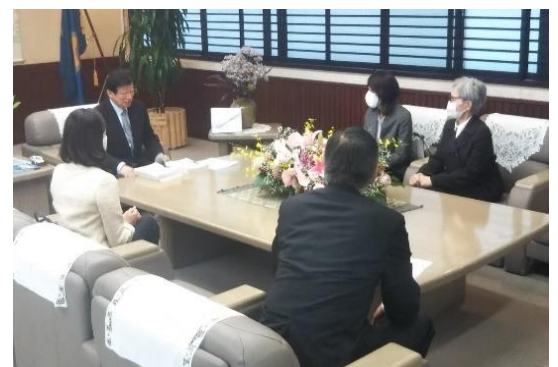
<その他>

●ふじのくに東部消費者推進協議会に生活クラブから代表を出しました。

●「六ヶ所再処理工場」に反対し放射能汚染を阻止する全国ネットワークの活動（阻止ネット）に生活クラブから代表を派遣し、阻止ネット主催の「脱原発社会に向けた地域学習会」に参加しました。

<リニア中央新幹線工事に伴う静岡県（知事）への賛同署名の実施>

●工事に伴う大井川の流量減少問題について生活クラブ静岡として静岡県（知事）の対応を支持（賛同）の署名活動を8月から9月で実施しました。その結果、2,170筆の署名が集まりました。署名の広報もコロナ禍で限定されるなか、短期間で多くの署名が集まったことは組合員だけでなく県内外でこの問題に対する関心が高いことの現れです。集まった署名用紙は10月9日静岡県へ提出しました。さらに、JR東海と国土交通省へ「リニア中央新幹線工事に伴う水問題と環境問題への要望書」を提出しました。



本部住所	〒422-8520 静岡市駿河区登呂6丁目14-27
本部 TEL・FAX	TEL 054-282-2140 FAX 054-282-9992
代表者名 (設立)	理事長 増田 勝俊 (1997年9月18日)
組合員数・事業高	28,355名・3億4,373万円
ホームページアドレス	http://www.kyousyokuin-seikyo.com/

【2020年度活動報告】

(1) 自主供給事業

共同購入では、全国統一日程により年14回(前年18回)職場や組合員宅にチラシを配布しました。前年より配布回数は少なかったものの、供給高は前年比110.6%と好調でした。

年度初め、マスク等の衛生用品が不足していた時期に、マイページのメール機能を活用し、入荷できたものを随時組合員にご案内しました。

組織供給では、「女性部共同購入」と「一人一品利用運動」をそれぞれ年3回実施しました。「一人一品利用運動」は、第2回が過去最高の供給高となり、第3回ではその記録をさらに更新することができました。

巡回供給では、感染拡大防止のため学校訪問等の巡回活動を自粛したため、供給高は前年比92.7%と苦戦しました。



(2) 指定店事業

優待割引等の特典がある指定店を紹介した「モバイル指定店商店街」を作成し、全組合員に配布しました。

協賛指定店を利用した組合員に抽選券を配布し、当選者に賞品の「ズワイガニ」をプレゼントしました。

例年実施している指定店研修会は、感染防止のため開催せず、教職員生協の広報媒体等をまとめた資料をすべての指定店に送付し、指定店事業の活性化を呼びかけました。



(3) ガソリン事業

教職員生協の組合員証は、そのままガソリンカードとして提携するスタンドで利用でき、利用代金は、給与からの天引きや口座引落により支払います。

利用者の中から、抽選でカタログギフトが当たる「組合員カード利用促進キャンペーン」を実施しました。

賞	金額	当選人数	カタログ名	備考
A	100,000円	1名	THE PREMIUM GIFT	約148品(温泉・食事・体験・雑貨)
B	30,000円	5名	おいしいお肉の贈り物	約87品
C	10,000円	10名	おいしいお米の贈り物	約66品
D	5,000円	50名	優良万葉	約340品

「A賞」100,000円 「B賞」30,000円 「C賞」10,000円 「D賞」5,000円

(4) ハウジング事業

2021年3月末現在、14社のハウスメーカーと提携しています。割引特典があり、新築やリフォームなど、組合員のニーズにお応えしています。

教職員生協主催の「住まいの見学会」を、10月に21会場、2月に36会場で開催しました。

(5) マイページ

デジタル化の時代に対応すべく、2017年度からマイページの運用を開始しました。スマホの簡単操作で、デジタル組合員証の表示、請求明細の閲覧、指定店の確認、ガソリン価格やスタンド検索等、組合員へのさらなるサービスの向上に努めています。

マイページの登録促進を図るため、QUOカード500円分をプレゼントする「マイページ登録キャンペーン」を実施しました。

マイページ登録キャンペーン
 期間中のマイページ登録者様全員に
QUOカード(500円分)をプレゼント
 期間：令和2年11月16日～令和3年1月31日

マイページに登録するとこんなにお得!
 ① 登録者限定クーポン、タイムセール、限定商品のご案内 ※アプリ登録が必要です。
 ② メールにてお得な情報を定期配信
 ③ 請求明細・ガソリン価格をいち早く確認

(6) 教育文化事業

南極越冬隊員経験者が講師を務める、出前授業「南極クラス」を県内の小中学校31校で開催し、約2,300名の児童生徒が聴講しました。

「自作教材・教具創作助成」として、教職員の日頃の教育実践に対して助成金を贈呈しました。

静岡県教育事業団体の共催事業として、小学校入学前後の生活習慣や学習習慣等を冊子にまとめた「これで安心!!新1年生」を作成し、保護者に無償配布しました。



(7) 社会貢献活動

フードバンク活動を支援するため、女性部共同購入の利益の一部を「フードバンクふじのくに」に寄贈しました。

営業車両すべてに「学校安全パトロール」のステッカーを貼付し、子どもたちを守る活動を推進しています。



2020.10.16 寄贈式



浜北医療生活協同組合

本部住所	〒434-0034 浜松市浜北区高畑 18
代表 TEL・FAX	TEL 053-585-5715 FAX 053-584-1551
代表者名（設立）	理事長 間間 元（1997年9月16日）
組合員数・事業高	4,655名・4億8,062万円
ホームページアドレス	http://www.mcp-hamakita.jp/

【2020年度活動報告】

1. 事業経営

コロナ禍で利用前年減を見込んでの予算でしたが、医療（診療所）はほぼ前年並み 99.8%、福祉介護は伸長 104.2%の増収増益となりました。しかしコロナ禍の特別な要因（組合員活動費、会議費、研修費など大幅な減）もあり経営水準変化はなく引き続きの改善が必要です。

（1）医療事業

新型コロナが感染拡大するなか、組合員・地域住民の不安に向き合い、迅速に対策を講じた1年でした。診療所の前にプレハブを設置し（写真右上）、発熱患者専用の診察室として活用しました。11月～3月の期間にPCR検査40回、抗原検査51回実施しました。

日生協はじめ医師会などから、フェイスシールドやガウン、マスクなどの物資支援を受け、日々活用しています（写真右下）。



（2）福祉介護事業

介護事業所全体で記録用タブレットを導入しました。また、ショートステイで就寝中の呼吸・脈拍を検知するセンサーを導入するなど、全体でIT化を促進しました。

利用者人数の傾向は前年比 145%と大伸長した訪問介護や訪問看護（訪問リハビリ含む）と居宅介護支援（ケアプラン）が前年比 110%を超え、2つの通所介護（デイサービス）は微増でした。赤字が続き経営改善が急がれる短期入所（ショートステイ）は大きく伸びた昨年比では利用者数は93%の減でしたが、事業高はほぼ予算通りでした。



2. 組合員活動

(1) 健康チェック、健康づくりチャレンジ

例年 20 カ所で開催していた健康チェックは、依頼があっても断らざるを得ず 1 カ所にとどまりました。健康づくりチャレンジは、ウォーキングなど 14 のコースを設定し、142 人が参加しました。

(2) 出前講座

職員等が講師になって（理学療法士・作業療法士が中心）、9 つの支部全てで出前講座を実施しました。「ペットボトルのふたが開けづらい」「寝覚め時に体が硬い」など、日常生活のなかでの悩み・疑問に答える企画で好評でした。

(3) 班会

非常事態宣言で一時中断しましたが、その後感染症対策を講じながら、ウォーキング、俳句、フラダンスなど、とりくみを継続しました。

(4) たすけ愛ネット

2019 年 9 月の設立から 1 年が経ちました。ちょっと困ったことを気軽に助け合える有償ボランティア活動として、約 40 名が応援者登録しています。2020 年度はのべ 538 回の支援を行いました。食事作りや掃除が多い中、おうちコプのとりこみ、話し相手などきめ細かい支援も行っています。

(5) 子育て支援

2 歳児とその保護者を対象とした、子育て支援のとりくみ（年 20 回）も 4 年目となりました。地域の公会堂に会場を移して継続しました。

(6) フードドライブ

県生協連の呼びかけにこたえて「フードバンクふじのくに」の冬期のフードドライブに初めて参加しました。約 50kg の食料品を寄贈しました。

(7) 国会請願署名

「コロナ禍から国民のいのちと生活をまもるための改善を求める請願署名」にとりくみました。生協ニュースひまわりに署名用紙を折り込んだところ、年度内に 1,432 筆が寄せられました。全国で 24 万 4600 人が国会に提出（3 月 4 日）されています。



pal*system 生活協同組合パルシステム静岡

本部住所	〒417-0801 富士市大淵 2297-8
代表 TEL・FAX	TEL 0545-37-1800 FAX 0545-37-1811
代表者名 (設立)	理事長 大信 政一 (2007年4月2日)
組合員数・事業高	36,609名・42億9,238万円
ホームページアドレス	http://www.palsystem-shizuoka.coop/

【2020年度活動報告】

1. SDGs やエシカル消費を広げる取り組み

東海大付属静岡翔洋高校の高校生、お茶の山英とともに、次世代を担う若者のアイデアを生かした「グリーンティー」の商品開発を行いました。月に一度行う特別授業静岡茶の持続可能な生産・消費につながる商品づくりについて意見交換を重ね商品化が実現し、3月より静岡独自商品チラシ「Shizu マルシェ」にて取り扱いを開始しました。



【パッケージデザイン】



【集合写真】

2. 生活困窮者支援の取り組み

パルシステムグループでは2019年度より毎週セット後に余る予備分の青果を、生活困窮者などへの支援を行う締結先団体へ活用する仕組みをスタートしました。静岡では、今年度10月から毎月1回50kgの青果をNPO法人青少年就労支援ネットワーク静岡へ寄贈しました。寄贈した青果は、主に静岡県東部で子どもの学習支援利用者、ひとり親、就労支援相談利用者などの暮らしにお困りの方への支援に役立てられています。



【NPO法人青少年就労支援ネットワーク静岡への寄贈の様子】

コロナ禍で生活が一層困窮を極めているひとり親支援のためにシングルペアレント101が県内3会場、合計6回開催した食料配布会に対し、延べ600kgの予備青果を寄贈し、20名の役職員が運営支援を行いました。



【必要なものを選べるピックアップパントリー形式】



【運営スタッフ集合写真】

3. ピンクリボン講演会

たすけあい活動助成金を活用し、乳がんの啓発を目的とした「乳がん特別講演会『前を向いて一歩ずつ。～AYA世代（思春期・若年成人 15歳～39歳）のがんを知ろう～』」を開催しました。タレントの矢方美紀さんによる講演と映画上映会の二部構成とし、会場参加とYouTube配信を行いました。合計415名の参加がありましたが、映像や音が途切れ多くの方にご迷惑をかける状態となり、後日再配信（再視聴者308名）を行いました。



〔元 SKE48 矢方美紀さんによる講演の様子〕

4. 災害支援

7月に熊本県、九州全域、中部地方など広範囲で記録的な大雨となり、河川の氾濫や土砂崩れが発生しました。組合員へ「2020年7月豪雨」災害緊急支援募金を呼びかけたところ、静岡の組合員からは合計2,083,312円、パルシステムグループ全体では総額1億4,527万9,493円のご支援をいただきました。集まった募金は、被災した産地・取引先の支援、被災地で活動する支援団体への支援、大きな被害を受けた地域の自治体へ向けた義援金として贈呈されました。



〔7月豪雨緊急支援募金 目録贈呈式の様子〕



あいち生活協同組合

本部住所	〒457-0041 名古屋市南区薬師通り 1-14
代表 TEL・FAX	TEL 052-821-2010 FAX 052-821-2388
代表者名 (設立)	理事長 子安 貞継 (1989年9月1日)
組合員数・事業高 (浜松地区)	7,143名 ・ 7億5,415万円
ホームページアドレス	http://ichoice-coop.com/

【2020年度活動報告】

2020年度の取り組みで「あいち生協は3年後にはこうあってほしい」という「将来像」を組合員と役職員が共同して作り、それを力にして生協運営を進めて行くために「中期計画策定会議」を開催しました。

生協理念を実現する為

- ①3年単位でビジョンを設定し、ビジョン達成に必要な課題を明確にし、その課題の解決を組合員と一緒に考えていく。
- ②第一次中期計画では、理念達成までの中期目標をスローガン化する事で、組合員に伝わりやすい形で発信する。
- ③第一次中期計画の対象期間は2021年～2023年度の3年間を対象期間とする。

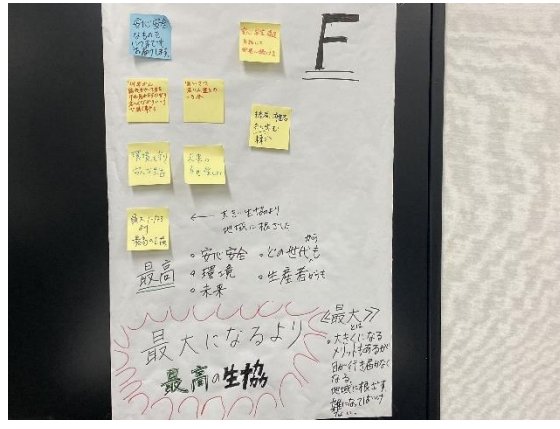
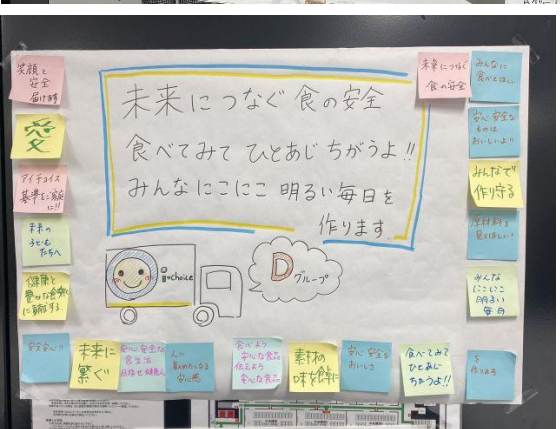
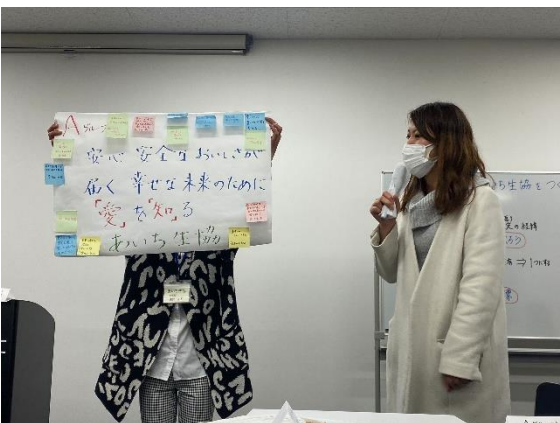
以上の3点を目標とし、取り組みました。

☆組合員と共に作り上げたキャッチコピーは下記の通りです。

テーマ毎に策定されたキャッチコピー

ビジョンとテーマ	キャッチコピー
●食と農	
【安全安心】	おいしい安全 ワンランク上の My チョイス
【共に生きる】	共に育ち 共に歓ぶ 10年先のみんなのために
【商品】	あなたにピッタリ 愛チョイス
●学ぶ	
【交流】	作り手 作る手 未来につながる手
【学習】	楽しく学んで豊かに暮らす
●くらし	
【平和】	過去に学び未来を創る
【環境】	子どもの未来を守る
【事業】	信頼のオンリーワン生協へ

- ・組合員と一緒に思いをつむいだビジョンやテーマ、課題に基づき、組合員活動や事業活動の案が作成され、2021年度の総代会に議案として提案されます。
- ・議案の承認後は、パンフレットを作成し全組合員とビジョンを共有します。
- ・組合員活動、事業活動は中期計画に基づき行われ、組合員も参加して定期的に行われる「ビジョン推進会議（仮）」にて進捗確認が行われます。
- ・中期計画3年目にあたる2023年は、第1次中期計画の最終年になるとともに、第2次（2024～2026）中期計画の策定年度となるので、ビジョン推進会議と平行してあいち生協をつくる会議が開催されます。



地域購買生協 2020 年度市郡別組合員数・加入率状況

(ユーコープ、パルシステム静岡、生活クラブ生協、あいち生協の組合員数合計です)

東部地域組合員数				
市町名	世帯数	2021年3月	前年差	加入率
沼津市	83,463	35,006	+ 586	41.9%
熱海市	19,018	4,540	+ 239	23.9%
三島市	46,704	18,928	+ 197	40.5%
富士宮市	52,279	22,566	△ 8	43.2%
伊東市	30,663	9,010	+ 189	29.4%
富士市	98,890	50,784	+ 508	51.4%
御殿場市	33,862	8,915	+ 121	26.3%
下田市	9,848	2,370	+ 87	24.1%
裾野市	21,083	8,864	+ 35	42.0%
伊豆市	12,122	4,387	+ 14	36.2%
伊豆の国市	19,095	6,582	+ 125	34.5%
東伊豆町	5,619	5,029	+ 108	27.8%
河津町	2,936			
南伊豆町	3,382			
松崎町	2,725			
西伊豆町	3,430			
函南町	14,950			
清水町	13,077	16,206	+ 107	44.1%
長泉町	17,201			
小山町	6,444			
合計	496,791	198,826	+ 2,388	40.0%

中部地域組合員数				
市町名	世帯数	2021年3月	前年差	加入率
静岡市	297,239	117,648	+ 1,707	39.6%
島田市	36,097	19,405	+ 132	53.8%
焼津市	53,960	17,947	+ 111	33.3%
藤枝市	55,654	20,606	+ 167	37.0%
吉田町	11,435	4,620	+ 55	32.5%
川根本町	2,781			
合計	457,166	180,226	+ 2,172	39.4%

西部地域組合員数				
市町名	世帯数	2021年3月	前年差	加入率
浜松市	327,069	121,116	+ 2,940	37.0%
磐田市	65,695	26,469	+ 456	40.3%
袋井市	34,331	18,191	+ 559	53.0%
菊川市	17,792	6,497	+ 179	36.5%
掛川市	44,348	19,366	+ 618	43.7%
御前崎市	11,531	3,888	+ 74	33.7%
牧之原市	16,280	5,452	+ 28	33.5%
湖西市	23,365	5,613	+ 183	24.0%
森町	6,381	2,933	+ 40	46.0%
合計	546,792	209,525	+ 5,077	38.3%

	世帯数	2021年3月	前年差	加入率
その他		2,285	+ 861	
総合計	1,500,749	590,862	+ 10,498	39.4%

*組合員数は2021(令和3)年3月現在
 *世帯数は2021(令和3)年3月1日現在の県統計資料より
 *行政区分は2021(令和3)年3月現在(35市町)

静岡県生活協同組合連合会 大規模自然災害等緊急時の対応計画

静岡県生協連（以下、県生協連）は、静岡県内の生活協同組合を代表する組織として、大規模自然災害等の発生時は会員生協への支援を進めるとともに、会員生協、行政、諸団体と協力・連携しながら、被災地・被災者支援のための取り組みを進めます。

【県生協連の基本的役割】

1. 会員生協と全国生協災害対策本部との連携
県生協連はユーコープと連携し、全国生協災害対策本部と連絡を取り緊急支援物資の受け入れを行います。ユーコープの拠点店舗等（※）に送り込まれた支援物資の割り当てについて調整等を行います。
※桜づつみ店、ミオクチーナ新沢田店、ミオクチーナ下野東店、ミオクチーナ千代田店、ミオクチーナ袋井田町店、ミオクチーナ小豆餅店（6店舗）
2. 会員生協間の連携
県生協連は会員生協の状況を把握し、被災生協の支援内容に関して会員生協間の連携を進めます。
3. 行政との連携
県生協連は静岡県災害対策本部（静岡県庁別館4階）に出向き、行政からの災害時緊急支援要請への対応の窓口として活動します。
4. 災害ボランティア本部との連携
県生協連は静岡県災害ボランティア本部（静岡県総合社会福祉会館2階）に出向き、災害支援活動に関する窓口として活動します。

【段階ごとの対応】

平時

1. 県生協連と会員生協との緊急時連絡手段は下記のとおりとします。MCA無線機は災害時に取り出すことが可能な施設・場所で保管し、通信訓練を行います。
（1）固定電話 （2）FAX （3）携帯電話および携帯電話の電子メール （4）パソコンの電子メール
（5）MCA無線（800MHZ デジタル機）
2. 夜間・休日時などMCA無線機が手元にない場合に備え、携帯電話の電子メールも連絡手段のひとつとします。
会員生協連絡窓口担当（上位3名）を決めておき、通信訓練を行います。

準備段階（風雨災害の5日前から風雨ピークの6時間前）

1. 「警戒レベル情報」「気象情報」「交通情報」（道路・鉄道）の収集と会員生協や関係団体との共有を開始します。
2. 会員生協の状況把握と共有をすすめます。
3. 日本生協連、ユーコープとの連絡体制を整えます。
4. 静岡県行政および静岡県社会福祉協議会、静岡県ボランティア協会との連絡体制を整えます。

初動段階（発災当日～1日程度 風雨災害時は風雨ピーク直前以降）

1. 事務局職員は、速やかに県生協連事務所（ユーコープしずおか県本部事務所）に参集します。
2. 事務所の使用可否をユーコープしずおか県本部と協議のうえ判断し、対策本部の設置を決定します。
3. 情報伝達ルートを構築します。
【連絡先】（1）生活協同組合ユーコープ本部 （2）日本生協連本部 （3）会員生協 （4）県生協連役員
4. 「被害状況連絡シート」を活用し、会員生協の状況把握を行います。
【状況把握項目】
（1）人的被害状況 （2）施設（本部および事業所等）の被害状況 （3）事業継続の可否
（4）応援要請の有無、応援内容
5. 緊急災害用ラジオなどにより情報収集を行います。
【情報収集項目】
（1）道路・鉄道などの交通状況 （2）電気・ガス・水道・電話などの状況
6. ユーコープしずおか県本部と連携し、静岡県災害対策本部（静岡県庁別館4階）、静岡県災害ボランティア本部（静岡県総合社会福祉会館2階）に参集し、情報収集・ネットワークを構築します。
7. 被害状況の発信・共有
被災地域の状況、被災生協から把握した被害状況を電子メール等により会員生協、全国生協対策本部に発信し共有を図ります。

緊急支援段階（概ね2日目～1週間程度） ※初動段階の3～7を継続して実施し、必要な対応を行います。



〒420-0031 静岡市葵区呉服町 1-3-14 YS 静岡呉服町ビル 8F
TEL 054-253-5987 FAX054-272-6971 URL <http://shizuoka-kenren.jp/>